

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公表番号】特表 2002-540087 (P2002-540087A)

【公表日】平成 14 年 11 月 26 日 (2002.11.26)

【出願番号】特願 2000-606548 (P2000-606548)

【国際特許分類】

C 0 7 C 29/16 (2006.01)

C 0 7 C 2/06 (2006.01)

C 0 7 C 11/02 (2006.01)

C 0 7 C 31/125 (2006.01)

C 0 7 C 41/03 (2006.01)

C 0 7 C 43/13 (2006.01)

C 0 7 C 303/24 (2006.01)

C 0 7 C 305/06 (2006.01)

C 0 7 C 305/10 (2006.01)

C 0 7 F 9/09 (2006.01)

C 0 7 H 15/04 (2006.01)

C 0 8 B 37/00 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 29/16

C 0 7 C 2/06

C 0 7 C 11/02

C 0 7 C 31/125

C 0 7 C 41/03

C 0 7 C 43/13 C

C 0 7 C 303/24

C 0 7 C 305/06

C 0 7 C 305/10

C 0 7 F 9/09 K

C 0 7 F 9/09 Z

C 0 7 H 15/04 D

C 0 8 B 37/00 J

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 9 日 (2007.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 a) オレフィン混合物の二量体化、  
b) 第 1 アルコールへの誘導體化、および  
c) 場合によっては引続きアルコキシル化、  
を行うことによって、生体毒物性および生物分解性に関連して特に有利な性質を有する界面活性アルコール、および相応する界面活性アルコールエーテルを製造する方法において

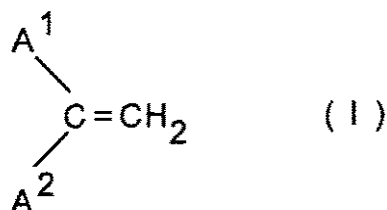
、線状ヘキセン異性体 30 ~ 80 質量%、およびヘキセン異性体を合計で少なくとも 60 質量%含有するオレフィン混合物を使用することを特徴とする、界面活性アルコールおよび相応する界面活性アルコールエーテルの製造法。

【請求項 2】 二量体プロペンおよび線状ヘキセンを 0.3 : 1 ~ 1 : 0.1 の質量比で含有するヘキセン異性体混合物を使用する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 処理工程 a)、二量体化を不均一系接触作用により実施する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】 周期律表の第 V I I I 副族の少なくとも 1 つの元素を含有する二量体化触媒を使用し、かつ式 (I) (ビニリデン基) :

【化 1】



[ 式中、 $A^1$  および  $A^2$  は脂肪族炭化水素基を表す ] で示される組織構成要素を有する化合物 10 質量%未満を含有する二量体混合物が得られるように、触媒組成および反応条件を選択する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】 分枝を有する成分 85 %を上回る含量および非分枝鎖状オレフィンの 15 %未満の含量を含有する、オレフィン混合物。

【請求項 6】 次の特徴 a) および b) :

a) 主鎖の分枝箇所、 $y$  が二量体化されたモノマーの炭素原子数を表す場合に、主として C 原子 ( $y - 4$ ) 個および ( $y - 5$ ) 個を有する基を結合している、

b) 二量体化混合物の分枝鎖状成分が、主鎖の鎖長の  $1/4 \sim 3/4$  の範囲内で分枝を有するか、または隣接する C 原子に分枝 2 つを有する

の少なくとも 1 つを有する、請求項 5 記載のオレフィン混合物。

【請求項 7】 次の特徴 a) および b) :

a) 主鎖の分枝箇所、 $y$  が二量体化されたモノマーの炭素原子数を表す場合に、主として C 原子 ( $y - 4$ ) 個および ( $y - 5$ ) 個を有する基を結合している、

b) 二量体化混合物の分枝鎖状成分が、主鎖の鎖長の  $1/4 \sim 3/4$  の範囲内で分枝を有するか、または隣接する C 原子に分枝 2 つを有する

の少なくとも 1 つを有する、界面活性アルコールまたはそのアルコキシル化生成物。

【請求項 8】 請求項 7 記載の界面活性アルコール - アルコキシル化生成物であることを特徴とする、非イオン界面活性剤。

【請求項 9】 請求項 7 記載の界面活性アルコールまたは界面活性アルコール - アルコキシル化生成物を化学的に変性することにより界面活性剤を製造する方法。

【請求項 10】 アルカノールグリコシド混合物およびポリグリコシド混合物を製造するために、前記界面活性アルコールまたは界面活性アルコール - アルコキシル化生成物を酸触媒作用下に水を遮断しながら単糖類、二糖類または多糖類と反応させるか、または O - アセチルサッカリド - ハロゲン化物と 1 回または数回反応させる (グリコシド化、ポリグリコシド化) ことによって変性するか、または

界面活性硫酸塩を製造するために、硫酸または硫酸誘導体を用いて、前記界面活性アルコールまたは界面活性アルコール - アルコキシル化生成物を酸性のアルキルスルフェートまたはアルキルエーテルスルフェートへとエステル化することによって変性するか、または界面活性リン酸塩を製造するために、リン酸またはその誘導体を用いて、前記界面活性アルコールまたは界面活性アルコール - アルコキシル化生成物を酸性のアルキルホスフェートもしくはアルキルエーテルホスフェートへとエステル化することによって変性する、請

求項 9 記載の 方法。